シリカゲル取扱説明書

1）シリカゲルの使用方法について

- シリカゲルは透湿度の大きい材料で作られた袋または容器に分割していれる。
- シリカゲルの設置位置は、水蒸気が上昇するため上部がよい。また、シリカゲルはなるべく広い面積になるように設置する。（ＪＩＳ　Ｚ　０３０３）
- シリカゲルは金属に触れない位置に固定する。
  さび止め材を適用した部分に接触することが避けられない場合は、その部分を耐油性バリヤー材で包み、隔離する。（ＪＩＳ　Ｚ　０３０３）
- シリカゲルは密閉する直前に手早く封入すること。
  封入のとき、シリカゲルを空気中に長く放置しないこと。（ＪＩＳ　Ｚ　０３０１）
- シリカゲルの封入環境は、湿度が低く、気温も低い環境が望ましい。

2）シリカゲルの保管方法について

- 当社から缶で出荷された製品でも、ふたのすき間から湿気が侵入して上部のシリカゲルが劣化する事があります。
  （丸い蓋を打ち込んであるタイプ以外は、充分にお気をつけ下さい）
- 長期間の保管をする時は、透湿性の無い気密容器（缶・タッパー等の密閉容器)や、アルミ蒸着袋などの透湿性の低い（防湿バリア性の高い）袋に入れて、密閉して保管してください。
  一般的なポリ袋等は透湿性があるので、密閉しても長期間の保存には向きません。
- 通常の環境中でシリカゲルを剥き出しのまま放置しておきますと、３０分ほどで含水率がＪＩＳ基準である２．５％を越えてしまいます。したがって開放状態で放置しないようにしてください。

3）応急処置について

- 眼に入った場合は、眼をこずらずに清浄な水で十分に洗浄し、取り除く。
- 皮膚に付着した場合は、清浄な水で付着部を洗う。
- 飲み込んだ場合は、口内を清浄な水で十分に洗う。
- 必要な場合は、医師の手当てをうける。